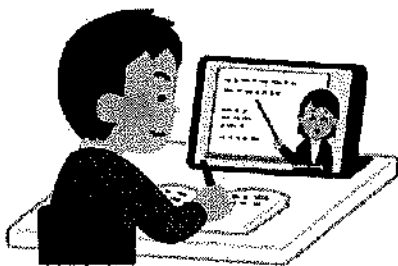




令和8年度

学習の手引き

3年生



津市立東橋内中学校

目次

はじめに	1
1. 中学校の勉強について	1
2. 家庭学習、家庭学習習慣について	2
3. 学習評価について	3
4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス	5
5. なぜ勉強する必要があるのか	6
6. 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について	..	6
特別活動について、特別の教科道徳について	7

シラバス

○国語科	8
○社会科	10
○数学科	12
○理科	14
○外国語科	16
○技術・家庭科(技術分野)	19
○技術・家庭科(家庭分野)	21
○保健体育科	23
○音楽科	25
○美術科	27
○特別支援教育について	29
○国際教室について	30

おわりに

0. はじめに

中学校の学習では、生徒が将来自立した社会人として自分の人生を主体的に歩んでいくための基礎となる「学力」*1を育みます。その中、令和3年度4月から改訂学習指導要領が全国一斉に実施されています。この改訂により、今までと学習内容と学習評価が大きく変わりました。また、本校では、生徒の潜在的な可能性を見つけ育み、未来を自分の力で切り拓いていける生徒の育成を目指しております。

このことから、改めて東橋内中学校の学習活動、学習評価について保護者の皆様や生徒の皆さんと共有し、生徒一人ひとりにあった適切な指導、評価をしていきたいという思いで本書を作成いたしました。

*1 「学力」とは、教科の知識や未知の問題に対して継続的に解決する力等のことです。

1. 中学校の勉強について

中学校の教科は、国語、数学、社会、理科、音楽、美術、保健体育、技術・家庭、英語の9教科10科目となります。小学校よりも科目数が多くなり、内容もとても難しくなります。小学校に比べて進むスピードも速くなり、授業だけでは追いつかなくなります。そのため、家庭での「予習・復習」が大切です。例えば、「法隆寺」を見学する場合、何も学習せずに観に行くと、ただの古い建物としか思いません。しかし、前もって調べ学習をしておくと、「世界最古の木造建築物」や「聖徳太子が建築したこと」など事前に知識を入れて実際に見ることができるので、見方が変わってきます。これが、「予習」のすごさです。予習では、次回どのような内容を学ぶのか教科書などを通じて調べることにし、予習しないで授業に臨むときは異なる気持ちで授業に向かうことができます。

また、授業を受けた後、今回学んだことを自分なりに整理する時間として復習を行います。この授業では、どのようなことを学び、何が大切だったのかを行うのが復習です。この「予習・復習」を行うことで、「自分をコントロールする力（自己調整力、メタ認知）」を育てることができます。

家庭学習は自分との勝負になります。家庭では、ゲームをする時間などが自由にありますが、勉強する気持ちを持って取り組むことにより、自分自身をコントロールする力を身につけることができます。そのためにも毎日家庭学習を行う習慣を身につけることが大切となってきます。

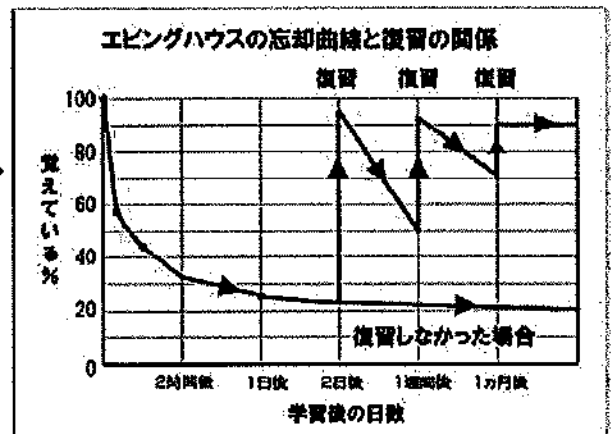
2. 家庭学習、家庭学習習慣について

学力を身につけるためには、「主体的に学ぶ力」が必要です。この力は、みなさん一人ひとりの学習計画に基づき、継続的に学習することによって身につけていく力です。そして、授業と家庭学習が一体となって自然と身につけていくものだと考えています。また、毎年中学3年生を対象に行われている全国学力学習状況調査によると、生活習慣と家庭学習習慣は生徒の正答率に影響していることが調査から分かってきました。このようなことから、子どもの学力を付けさせようとしたときに家庭学習やその習慣は不可欠なものとなっています。

Q.なぜ家庭学習をしないといけないのですか？

⇒ A.人は「忘れるのが当たり前」だからです。

- 家でもう一度勉強することで、忘れることを防げます。
- テスト前に一気に思い出すのではなく、毎日コツコツ思い出していく方が、学力UPの効果は上がります。



<保護者の方へ>

家庭学習の習慣は、お子さまの生活リズムを整えることにも効果を発揮します。

「毎日、〇時～〇時までには家庭学習の時間」と、家庭で設定することをお勧めします。



褒めることも大切



依存から脱けだそう

3. 評価について

令和3年度から学習指導要領が改訂され評価の観点が「知識・理解」「思考力・判断力・表現力」

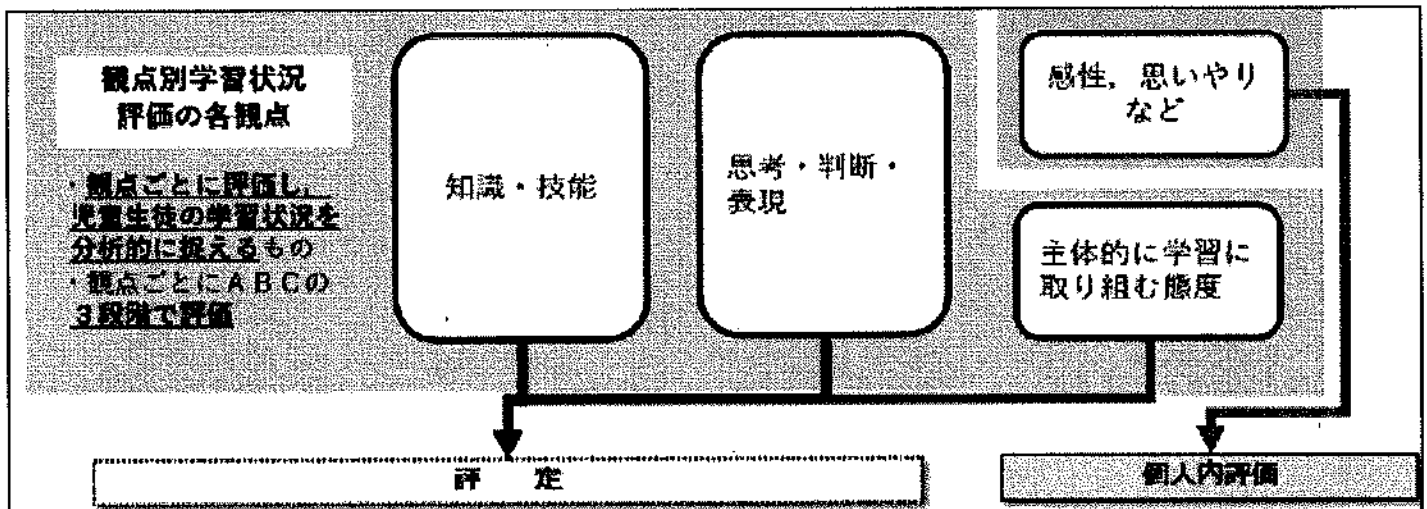
「主体的に学ぶ力」の3観点となりました。

「知識・技能」では、各教科等における知識及び技能の習得状況进行评估します。

「思考力・判断力・表現力」では、各教科等の知識及び技能を活用して課題を解決する等のために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けているかどうか进行评估します。

「主体的に学ぶ力」では、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりするために、自らの学習状況を把握し、学習の進め方について試行錯誤するなど自らの学習を調整しながら学ぼうとしているかどうかという意志的な側面进行评估します。また、それぞれの項目に対してA、B、Cの評価をします。

評価のイメージ図

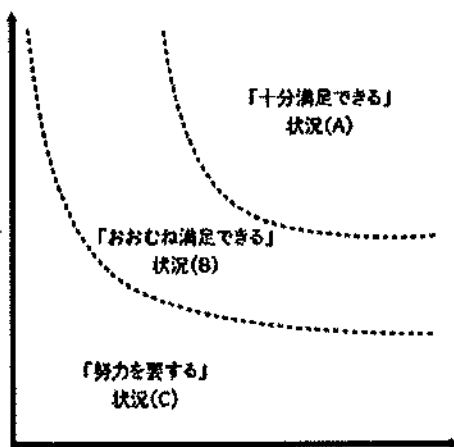


「主体的に学習に取り組む態度」の評価のイメージ

① 粘り強い取り組みを行おうとする側面は、目標達成までやり抜く力を指します。

② 自らの学習を調整しようとする側面は、学習の目的を達成するために工夫することを指します。

② 自らの学習を調整しようとする側面



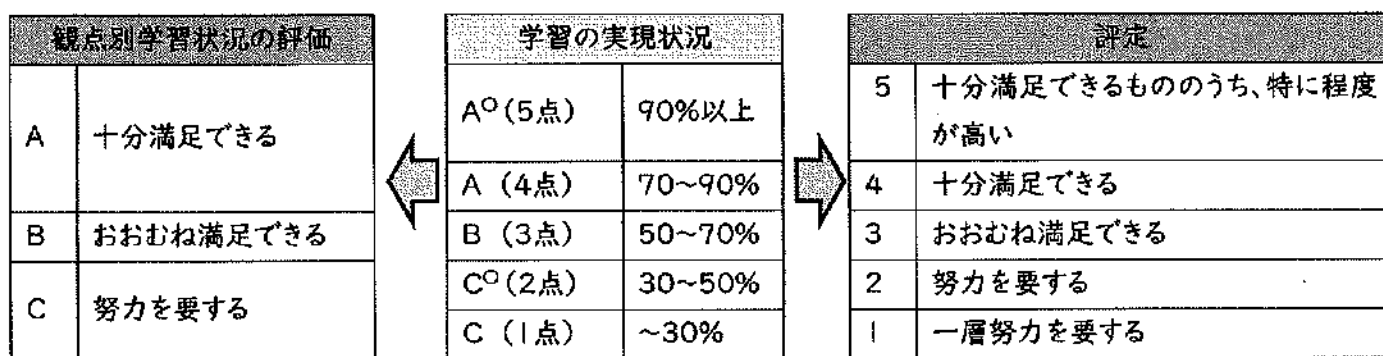
① 粘り強い取組を行おうとする側面

* 文部科学省国立教育政策研究所「指導と評価の一体化のための学習評価に関する参考資料」

具体的な評価の一覧【通知表に載るもの】

観点別学習状況評価 【知識・技能】【思考力・判断力・表現力】【主体的に 学ぶ力】	評定
A:「十分満足できる」状況と判断されるもの	5:「十分満足できるもののうち、特に程度が高い」状況と判断されるもの
B:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの	4:「十分満足できる」状況と判断されるもの 3:「おおむね満足できる」状況と判断されるもの
C:「努力を要する」状況と判断されるもの	2:「努力を要する」状況と判断されるもの 1:「一層努力を要する」状況と判断されるもの

具体的な評価の方法(あくまでも1例です)*学習の内容によりパーセンテージは変わることがあります。

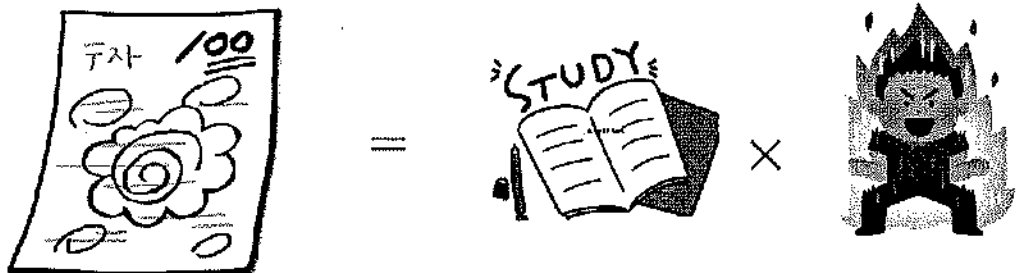


3観点の合計得点	15点 14点	13点 12点 11点	10点 9点 8点	7点 6点 5点	4点 3点
評定	5	4	3	2	1

4. 勉強の仕方、ポイント、アドバイス

勉強の仕方に悩む生徒や保護者の方が多いように感じます。そこで、効果的な勉強方法について3つ紹介します。1つでも参考になればと思います。

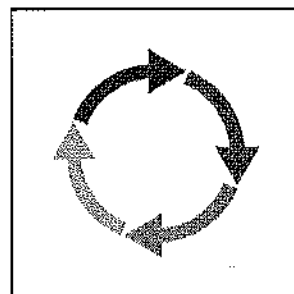
その1 ^{がくしゅうせい} 学習成果 = ^{なに} 何を × ^{いよく} 意欲



最初に言えることは、勉強方法や勉強の仕方だけにとらわれていても成果は出ません。まず、あなたが、どんな気持ちで勉強に取り組むのが大事です。例えば、よい例としては、次のテストで100点を絶対に取りたい。前回のテストよりも10点伸ばしたい。授業をもっともっと理解したい。などが考えられます。逆に、めんどうくさい、やらされている、早く終わりたい、などのマイナスの気持ちを持っていると結果もマイナスになってしまいます。

その2 ^{こと} 3つの異なるワークを1回するより、^{かい} 同じワークを ^{おな} 3回 ^{かいど} 解く

勉強が苦手だけれども、少しでもできるようになりたい!と思う人はぜひこのことを実践してみてください。逆になぜこのことをしないのに勉強がわからないと言っているのかがいつも不思議に思っています。1冊の問題集を1回ただけでは、絶対に覚えることはできません。間違った問題を何回も解くことで理解が深まります。大切なことは何回も同じものに出会うこと。勉強も同じことが言えますよ。



その3 ^{べんきょうじかん} 勉強時間より ^{べんきょうりょう} 勉強量で ^お 終わりを ^き 決める

とにかくすぐに勉強に取り掛かるのもいいですが、まず、今日勉強する見通し(予定)を立てましょう。例えば、「この問題ができるまでやろう」や「15ページできるまでやろう」「ここまで終わらなかったら寝ない」という意志固めを最初にすることです。逆に、「〇〇時までやろう」というのは、とにかく時間さえきてしまえば終わってしまいますので、椅子に座っていたら時間がきて終わってしまいます。そうすると力はないけど勉強した気持ちだけになってしまい、結果何の問題も解けなくなってしまいます。また、そうなってくるとだんだん勉強をさせられていると自分で認識してしまいます。常に、時間ではなく、勉強量で終わりを決めましょう。



5. なぜ勉強する必要があるのか

べんきょう いみ じぶん ひょうげん 勉強をする意味①=自分らしく表現するため

あなたの人生は、あなた自身が組み立てて進んでいく道筋です。このことは、「自己実現」といい、あなたが将来やりたいこと、なりたい職業に近づくことをいいます。勉強することは、あなたがあなたらしい人生を送るためには、必要なことです。

例えば、「〇〇の仕事に就きたい」と言っているだけで、その仕事に必要な力が身につけていなかったとしたらどうでしょう？いつまでたっても、その職業には就けません。つまり、あなたが勉強しないと、「自己実現」できないのです。

べんきょう いみ こうきしん しこうりょく ひょうげんりょく こうじょう 勉強をする意味②=好奇心や思考力、表現力の向上

勉強をする意味①でも、書いたように、「将来のために、自己実現のために、良い成績を取る」ということはあります。しかし、「テストで良い点数を取るためだけに勉強をする」のではありません。中学校で様々な教科を学ぶことには大きな意味があります。

(ア) 自分の興味関心がどこにあるのかを、自分で分析したり、その好奇心を自分で伸ばしたりする。

(イ) 課題を解決するための様々な考え方を学ぶことで、思考力を高める。

(ウ) 自分が学んだことや考えたことを相手に分かりやすく伝えることで、表現力を身につける。

これらのように、中学校の間に様々な教科に出会うことで、テストで点数を取る以上に大切なことを身につけることができるのです。

6 東橋内中学校独自のインターネットを活用した授業について

一人1台タブレットが導入され、授業内でも調べ学習やタブレットを使用した授業が多くなります。各授業での使用方法につきましては各教科担任から指示があると思いますので、その指示を聞いて使用してください。またそれに伴って、「ロイノート」というアプリを利用します。課題提出や友人同士でのまとめ作業など様々な用途に使用できるアプリとなっております。

e-Learning ポータルサイトでは、津市教育委員会からでている動画など自宅学習で使用できるサイトが上がっています。ぜひ、活用して自宅学習を充実するものにしてもらいたいと思います。

ログイン方法は授業内でお知らせした ID とパスワードをサイト内に打ち、ログインしてください。

ID とパスワードを忘れそうな人は下のところに書いておいてください。

ID: _____

パスワード: _____

特別活動について

特別活動とは、集団や自己の生活上の課題を解決することを通して、資質能力を育成することを目指す教育です。

【具体的な教育活動】

特別活動		
学級活動	生徒会活動	学校行事
<ul style="list-style-type: none">・学級や学校の生活上の問題解決・学級内の役割の自覚・一人一人のキャリア形成	<ul style="list-style-type: none">・生徒会の組織づくりと生徒会活動の計画や運営・学校行事への協力・ボランティア活動などの社会参画	<ul style="list-style-type: none">・入学式、始業式、終業式、終了式卒業式などの儀式・文化祭・体育祭・修学旅行・職場体験学習・ボランティア活動

道徳教育について

道徳教育は、よりよく生きるために、以下の4つの内容を学習し、人間としての生き方についての考えを深めることが目的です。

道徳教育の内容(年間35時間)
<ul style="list-style-type: none">A 主として自分自身に関する事B 主として人との関わりに関する事C 主として集団や社会との関わりに関する事D 主として生命や自然崇高なものとの関わりに関する事

国語 3年生 シラバス

1 国語の目標

社会生活における人との関わりの中で、国語を正しく使って伝え合う力を高め、考えたり想像したりする力をつける。

2 国語を学ぶ意義

- ・知識や技能を身に付けることによって、生活の中にある言葉や文章を理解できるようになる。
- ・論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力が身に付く。
- ・人との関わりの中で伝え合う力が高まり、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：日本の言葉の特徴や使い方（漢字・文法・慣用句・故事成語・ことわざなど）について理解することができる。</p> <p>技能：話や文章に書かれている情報を正確に理解することができる。</p>	<p>A「話すこと・聞くこと」において、スピーチなどの活動で、今までの学習を生かして自分の考えを他者に分かりやすく発信することができる。 また、他者の考えを大切にして、相手が何を伝えたいのかを聞き取ることができる。</p> <p>B「書くこと」において、作文や記述などの活動で、習った漢字や正しい文法を使って、他者に伝わりやすい文章を書くことができる。</p> <p>C「読むこと」において、文学的文章では、さまざまな作品を読み、それぞれの人物の心情（気持ち）や作品の主題（テーマ）をとらえ、自分の経験と照らし合わせたり、他者の意見を聞くことで自分の読みや考えを深めることができる。 説明的文章では、文章の構成や筆者の主張を読み取り、筆者の物事の見方を参考にしながら新たな見方・考え方をもち、自分の考えの幅を広げることができる。</p>	<p>日本の言語文化を大切に にし、他者の意見を尊 重しながらも自分の思 いや考えを伝えようと している。</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、あきらめずに取り組むこと
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 国語を学ぶ意義 例：学習したことを実際の生活に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 国語の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した部分は、復習としてそのつどワークを自分で進めましょう。
- ② 漢字の学習は、予習としてどんどん自分で進めましょう。
- ③ 普段から、読書の時間を大切にしましょう。
- ④ 音読に力を入れ、教科書の本文をくりかえし読みましょう。

国語 3年生 学習計画と評価規準について

【学習の年間計画】

学期	月	学習内容 (単元)	学習のねらい
1 学期	4	◆オリエンテーション ○世界はうつくしいと(詩) ○握手(小説) ・意見を聞き、適切さを判断する(聞く)	■詩・俳句 「世界はうつくしいと」、「俳句の可能性」、「俳句を味わう」、「挨拶」、「初恋」、「わたしを束ねないで」、「初日」 ・詩に用いられている語句や表現に着目して考えている。 ・俳句で使われている語句の意味を理解したり、豊かなイメージを喚起する効果的な語句に着目したりしている。 ・語句の選び方や表現のしかたに着目して俳句を読み、筆者の評価のしかたを捉えている。 ・語句の辞書的な意味や語感を踏まえて、文脈の中での意味や効果を考えている。 ・詩の表現の効果を評価し、現代社会の状況と重ね合わせながら考えを深めている。 ・詩に描かれた情景や作者の思いを想像しながら、社会と人間、自分の可能性について考えている。
	5	○学びて時に之を習ふ(漢文・解説) ・説得力のある構成を考えよう(話す) ○作られた「物語」を超えて(論説) ・具体化・抽象化(情報) ・論理の展開を意識して書こう(書く)	■小説・随筆文 「握手」、「言葉の釣り糸を垂らす」、「故郷」、「温かいスープ」、「アラスカとの出会い」、「律儀な桜」 ・抽象的な概念を表す語句などを用いて、登場人物の人物像を表している。 ・作品の展開を踏まえて人物像を捉え、その生き方について考えを深めている。 ・感覚や概念を表す語句・表現の幅を広げている。 ・文章に表れた筆者のものの見方や考え方について考えている。 ・文学作品を通して、人の生き方や社会との関わり方を考えている。 ・作品を批判的に読み、時代や社会の中で生きる人間の姿について考えている。 ・自分の考えと作品に表現された考え方を比較して、「国際性」とは何かについて、自分の考えをまとめていく。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。
	6	・「走って」いるのは誰? / 文法を生かす(文法) ・相手や場に応じた言葉遣い(言葉) ・熟語の読み方(漢字) ○俳句の可能性(俳句・解説) ○俳句を味わう(俳句)	■論説文、解説文 「作られた「物語」を超えて」、「複数の意見を讀んで、考えよう」、「それでも、言葉を」 ・ゴッラの事例と人間社会の話に着目して、「具体と抽象」の関係を理解している。 ・論説の特性を踏まえ、「具体と抽象」の関係に着目して、論理の展開のしかたを図式化するなどして捉えている。 ・一つの課題に対して書かれた複数の文章を読み比べることが、自分の生きている社会について深く考えるきっかけとなることに気づいている。 ・提言の内容、論理の展開、表現のしかたなどについて、自分の知識や経験と結び付けたり、討論したりして、評価している。 ・抽象的な概念を表す語句について、言葉の意味を辞書などで確かめたり、具体的な事例を挙げたりしながら理解している。 ・文章を批判的に読んだり話し合ったりすることを通して、言葉に対する自分の意見を確立している。
	7	○言葉の釣り糸を垂らす(随筆) ・語彙を豊かに ・和語・漢語・外来語(言葉) ・実用的な文章を読もう(情報) ・報道文を比較して読もう(情報) ・情報の信頼性(情報) ・読書を楽しむ(読書活動)	■古文・漢文 「学びて時に之を習ふ」、「和歌の世界」、「古今和歌集 仮名序」、「君待つと」、「夏草」 ・教材文を参考に歴史的背景を押さえ、教材の書き下し文や訓読文、現代語訳を読むことを通して、「論語」の世界に親しんでいる。 ・人間の生き方に関する孔子の考え方を、自分の生き方や生活と関連づけて考えている。 ・三つの歌集の歴史的背景や和歌が詠まれた状況に注意し、和歌の世界に親しんでいる。 ・三つの歌集の歌を音読したり、比較したりして、そこに詠まれた情景や心情を読み取り、特徴的な表現やその効果について、評価している。 ・歴史的背景に注意して作品を読み、作者が何に感動したのかを理解している。 ・心に響いた俳句やその一節を引用し、その理由などを発表している。
2 学期	9	○挨拶(詩) ○故郷(小説) ・論理の展開を整える(書く) ・慣用句・ことわざ・故事成語(言葉) ・聞き上手になろう(話す・聞く)	■漢字・文法・語句 ・漢字の音訓や、熟語における音訓の組み合わせに注意して、漢字を読んだり書いたりしている。 ・漢字の造語力を意識しながら、漢字の意味を理解し、読んだり書いたりしている。 ・既習の文法事項が、日常の会話や文章を見直したり文の表現効果を考えたりする際の判断基準になることを理解している。 ・言葉の単位、文の組み立て、単語の分類、自立語、用言の活用、付属語など、3年間で学習した文法の内容を理解している。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、実際の使用場面を想定しながら、適切な使い方を考えている。 ・和語・漢語・外来語について理解し、相手や場面に応じて適切に使い分けている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・慣用句を使って短文を作ったり、ことわざや故事成語の意味や使い方を調べたりしている。
	10	・漢字の造語力(漢字) ○複数の意見を讀んで、考えよう(論説) ・考えを効果的に伝えよう(書く) ・「ない」の違いがわからない?(文法) ○初恋(詩)	○それでも、言葉を(論説) ・話し合いを効果的に進めよう(話す・聞く) ・漢字のまとめ(漢字) ・合意形成に向けて話し合おう(話す・聞く) ・本は世界への扉(読書)
	11	・和歌の世界(古典・解説) ○古今和歌集 仮名序(古文・音読) ○君待つと一万葉・古今・新古今(古文) ○夏草(古文) ・つながる古典(古典・解説)	○私を束ねないで(詩) ○初日(詩)
	12	○それでも、言葉を(論説) ・話し合いを効果的に進めよう(話す・聞く) ・漢字のまとめ(漢字) ・合意形成に向けて話し合おう(話す・聞く) ・本は世界への扉(読書)	○私を束ねないで(詩) ○初日(詩)
3 学期	1	○温かいスープ(随筆) ○アラスカとの出会い(随筆) ○律儀な桜(随筆)	○私を束ねないで(詩) ○初日(詩)
	2	○私を束ねないで(詩) ○初日(詩)	○私を束ねないで(詩) ○初日(詩)
	3	・三年間の歩みを振り返ろう(話す・聞く・書く) ・国語の力試し	・三年間の歩みを振り返ろう(話す・聞く・書く) ・国語の力試し

社会科 3年生シラバス

1 社会科の目標

広い視野で物事を見て、平和で民主的な世の中を築き上げるための知識・技能の基礎を身に付ける。

2 社会科を学ぶことの意義

- ・よりよい社会を築き上げるのは自分であるという自覚を持てる。
- ・自分を大切に、他の人や異なる文化を大切にする心が持てる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識： 我が国の国土と歴史や現代社会の政治、経済、国際関係に関する事柄を理解する。</p> <p>技能： 社会的事象について調べ、まとめることができる。</p>	<p>思考： 社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多面的・多角的に考察することができる。</p> <p>判断： 社会に見られる課題を把握し、解決に向けて複数の立場や意見を踏まえて選択・判断することができる。</p> <p>表現： 自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p>	<p>世の中の様々な事柄について進んで学習し、よりよい社会の実現に関わろうとしている。</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):社会科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の見解も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②自らの学習の調整(例):振り返りを使って、課題解決の過程を振り返り、評価・改善をしようとしていること。
- ③社会科を学ぶ意義(例):社会科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。

5 社会科の勉強アドバイス

- ①授業で学んだことをワーク(問題集)を使って何度も復習しましょう。
- ②暗記するだけでなく、資料などを見て、課題に取り組みましょう。
- ③覚えたことを、簡単な言葉に置き換え、自分の言葉で説明できるようにしましょう。

社会科 3年生 学習計画と評価基準について

単元	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
二度と世界大戦	4月～5月	二度の世界大戦のころの日本のできごとについて、世界の動きと関連させながら、基本的な知識を理解している。表やグラフ、資料などを活用し、当時の情勢を読み取っている。	日本の政治・経済・外交の動きを世界の動きと関連させながら公正に考え、当時の日本のとるべき道を判断し、自分の意見を述べている。	二度の世界大戦について関心を持ち、なぜこのような戦争を引き起こしてしまったのかについて、追究する態度を身に付けている。
現代の日本と私たち	5月～6月	第二次世界大戦後の日本の民主化と再建、国際社会への復帰、また高度経済成長以降から現在までの日本と世界の動きについて、世界の動きと国民生活の向上について関連させながら理解する。	戦後の諸改革や国際社会の変化、経済成長や国民生活の変化を、相互に関連付けながら、現代の日本や世界の特徴を考察し、表現させる。	現代の日本の特徴を理解しようと、自分たちの生活とのつながりに着目しながら、学習の見通しを立て、課題の解決に取り組もうとしている。
現代社会と私たち	6月	現代社会の特色を理解し、その知識を身に付けている。また、現代社会を捉える見方・考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などがあることに気づき、それらを理解している。	現代社会の特色を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を対立と合意、効率と公正の見方・考え方に基づいてまとめたり、発表したりしている。	現代社会を捉える見方・考え方について、具体的な事例を基にした活動に意欲的に取り組み、これ以降の公民的分野の学習に対する関心を深めている。
日本国憲法と私たち	7月～9月	人間の尊重についての考え方を、基本的な人権を中心に深め、法の意義を理解している。	対立と合意、効率と公正、個人の尊重と法の支配、民主主義などに着目して、「ちがいのちがいがい」などの対話的な活動を通じ、我が国の政治が日本国憲法に基づいて行われていることの意味について、多面的・多角的に考察、表現している。	現代社会に見られる課題の解決に向けて、人権の尊重の考え方や日本国憲法の基本的原則などを視野に主体的に社会に関わろうとしている。
政治と私たち	10月～11月	国や地方公共団体の政治の仕組みについて、主催者の立場から理解し、その知識を身に付けている。	新聞記事や法令、判例などの資料を様々な方法で収集・選択し、政治や社会の現状や課題についての的確に読み取ったり、文章や図表などにまとめたりしている。	民主政治をより良く運営していくためにはどのような仕組みが必要か、また自分は政治にどのように関わっていけばよいか、意欲的に考えている。
経済活動と私たち	11月～12月	消費、市場経済、生産と金融の仕組み、社会保障や租税についての基本的な働きを理解している。	対立と合意、効率と公正、分業と交換、希少性などに着目し、市場の動きに委ねることが難しい問題に関して国や地方公共団体が果たす役割や、財政及び租税の役割について、多面的・多角的に考察し、発表している。	市場の働きと経済について、現代社会に見られる課題の解決に向けた学習を通して、主体的に社会に関わろうとしている。
国際社会と私たち	1月～2月	世界平和の実現や地球環境問題、貧困問題などの国際社会の諸課題や、その解決のための様々な取り組み、日本の国際貢献について理解し、その知識を身に付けている。また、国際社会の現状や諸課題に関する様々な資料を収集・選択し、的確に読み取ったり、図表などにまとめたりしている。	国際社会の諸課題やその解決への取り組みについて考察し、過程や結果を適切に表現したり、パフォーマンス課題などを通して考えを深めたりしている。	国際社会の抱える諸課題に対する関心を高め、課題を意欲的に追究し、より良い地球社会を築くための解決策について考え続けようとしている。
課題探究と私たち	2月～3月	持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題とその解決策について、これまでの社会科で学習した知識と関連付けて理解している。また、レポートを作成するにあたって、「探究課題の設定→資料の収集・中間発表・議論→レポートの作成・完成」という科学的な探究の過程をたどっている。	持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題について、地理的分野や歴史的分野の学習内容も踏まえて多面的・多角的に考察し、その結果をレポートに表現している。	持続可能な社会を実現するために解決すべき社会の課題に関心を持ち、その解決策を意欲的に探究している。また、より良い社会を築くために自分に何ができるか考え、社会参画しようとする態度が見られる。
具体的な評価の方法		授業の様子、単元テスト・定期テストなど	授業の様子、単元のまとめ、プレゼンテーション、単元テスト、定期テストなど	授業の様子、振り返り、単元のまとめ、単元テスト、定期テストなど

数学科3年生シラバス

1 数学科の目標

数学的活動を通して、数学的に考える力をつけることを目指す

2 数学を学ぶ意義

生活の中にある数字や式の意味を理解できるようになる。
物事を順序だてて考え、大切なことを見失わないようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：数量や図形などについて決まりを理解することができる。</p> <p>技能：問題を数字や式に表して、計算することができる。</p>	<p>思考：課題を解決するために、比べたり、決まりを見つれたり等することができる。</p> <p>判断：今までの学習の中から今の課題を解決する手段を見つけることができる。</p> <p>表現：自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p>	<p>数学の楽しさや良さを生活や学習に生かそうとしたり、学習を振り返って次の勉強をより良くしようとしている。</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：数学の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
例：友達の見解を聞き、自分の考えを深めること
- ② 数学を学ぶ意義 例：数学を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 数学の勉強アドバイス

- ① 学校で学習した内容は、ワークで復習しましょう。
- ② 文章のある問題は絵や図を書いたりして解くようにしましょう。

数学科 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1章 式の展開 と因数分解	4月～5月下旬	式の展開や因数分解の必要性和意味を理解することが出来る。	多項式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	文字を用いた式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
2章 平方根	5月下旬～6月中旬	数の平方根の必要性和意味を理解することが出来る。	数の平方根について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	数の平方根を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
3章 二次方程式	6月中旬～7月	二次方程式の必要性和意味を理解することが出来る。	二次方程式について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	二次方程式を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
4章 関数 $y=ax^2$	9月～10月中旬	関数 $y=ax^2$ の必要性和意味を理解することが出来る。	関数 $y=ax^2$ について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	関数 $y=ax^2$ を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
5章 図形と相似	10月中旬～11月	相似な図形の性質の必要性和意味を理解することが出来る。	図形の相似について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	相似な図形の性質を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
6章 円の性質	12月	円周角と中心角の関係の必要性和意味を理解することが出来る。	円周角と中心角の関係について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	円周角と中心角の関係を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
7章 三平方の定理	1月	三平方の定理の必要性和意味を理解することが出来る。	三平方の定理について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	三平方の定理を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしている。
7章 標本調査とデータの活用	2月	標本調査の必要性和意味を理解することが出来る。	標本調査について学んだことを生活や学習にいかそうとしている。	標本調査を活用した問題解決の過程をふり返って評価・改善しようとしたり、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとしたりしている。
評価方法		・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物・パフォーマンステスト・プレゼンテーションテスト	・定期テスト・単元テスト・小テスト・授業での発言・レポート等の提出物・パフォーマンステスト・プレゼンテーションテスト	・授業中の発言・レポート等の提出物・授業の振り返り

理科3年生シラバス

1 理科の目標

自然や様々な現象に関わり、見方や考え方を働かせながら、見通しをもって観察や実験を行う活動を通して、科学的に考えるために必要な力をつける。

2 理科を学ぶ意義

- ・生活の中にある事柄や現象について正しく学ぶことで、適切に判断し、行動できる。
- ・科学的に物事を考えることができるようになる。
- ・探究する能力や態度を身に付けることで、主体的、創造的に生きていく力を付けることができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：自然の様々な現象について理解できる。</p> <p>技能：科学的に考えるために必要な観察や実験に関する基本的な技能を身につけることができる。</p>	<p>思考：課題に対して、科学的な根拠をもとに考えることができる。</p> <p>判断：学習により身についた様々な実験方法や分析方法の中から、課題を解決するための正しい方法を決定することができる。</p> <p>表現：観察や実験を通して自分がわかったことや、疑問点などを友達や先生にわかりやすく伝えることができる。</p>	<p>自然の様々な事柄や現象に進んで関わり、科学的に考えることができる。</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：課題に対して、科学的に考え、あきらめずに取り組むこと
例：自分の考えをさらに深めるために、友達に聞いたり、共に考えたりすること
- ② 理科を学ぶ意義 例：学習したことと生活の中にある科学を結び付けていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善をしようとしていること

5 学習のポイント

- ・学習の振り返りをするときには、めあてに対しての振り返りを書くようにしましょう。そして、「授業で分かったこと」は何なのか、また「授業を受けたがまだ分からなかったこと」は何なのかを表現しましょう。
- ・パフォーマンス課題では、単元で学んだことをもとに自分の言葉で他者にわかりやすく説明できるようにしましょう。

理科 3年生 学習計画と評価規準について

領域	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
生命の連続性	4月～5月	生物のふえ方や進化に関する事柄や現象の特徴に着目しながら、様々な生命活動や進化についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	様々な生命活動や進化について、観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解き明かし、生物の成長とふえ方についての特徴やきまりを発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	様々な生命活動や進化に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
化学変化とイオン	6月～7月	化学変化をイオンのモデルと関連づけながら、イオンやイオンが関係する化学変化についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	イオンが関係する化学変化について、見通しをもって観察、実験などを行い、イオンと関連づけてその結果を分析して解き明かし、化学変化におけるきまりや関係性を発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	イオンやイオンが関係する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
運動とエネルギー	9月～11月中旬	力や仕事、エネルギーを日常生活や社会と関連づけながら、これらの基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	力や仕事、エネルギーについて、見通しをもって観察、実験などを行い、その結果を分析して解き明かし、きまりや関係性を発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	力や仕事、エネルギーに関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
宇宙を覗く	11月下旬～1月中旬	身近な天体とその運動に関する特徴に着目しながら、様々な天体現象についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	様々な天体現象について、天体の観察、実験などを行い、その結果や資料を分析して解き明かし、太陽の様子、惑星と恒星についての特徴やきまりを発見して表現しているとともに、自分が考えてきたことをふり返るなど、科学的に考えている。	様々な天体現象に関する事柄に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
自然と人間	1月下旬～3月	日常生活や社会と関連づけながら、環境保全や科学技術の利用についての基本的な考え方やきまりなどを理解しているとともに、科学的に考えるために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身につけている。	環境保全や科学技術の利用などを調べる観察、実験、調査などを行い、自然界のつり合いについて科学的に考えている。	環境保全や科学技術の利用に関する事柄や現象に進んで関わり、見通しをもったりふり返ったりするなど、科学的に考えようとしている。
具体的な評価の方法		行動観察、発言、発表、パフォーマンステスト、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	発言、発表、レポート、ワークシート、単元テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、自己評価、レポート、ワークシートなど

外国語科3年生シラバス

1 外国語科の目標

簡単な情報や考えなどを理解したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力の育成を目指す

2 外国語を学ぶ意義

- 聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付けるため
- コミュニケーションを行う目的や場所、状況などに応じて、表現したり伝え合ったりすることができる力を身に付けるため
- 相手意識を持ちながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を身に付けるため

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：英語の特徴やきまりに関する事項を理解することができる</p> <p>技能：実際のコミュニケーションにおいて、日常的话题や社会的な話題について、その内容を捉える技能を身に付けることができる</p>	<p>コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的话题や社会的な話題に関して聞いたり読んだりしたことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを、簡単な語句や文を用いて伝え合うことができる</p>	<p>外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてやり取りしようとしている</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：言語活動を粘り強く行い、あきらめずに課題解決しようとする取り組みこと
例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝えようとしている
- ② 外国語を学ぶ意義 例：相手意識を持ち、自分の考えや気持ちを伝え合おうとしている
- ③ 自らの学習の調整 例：振り返りカードを使って、学習計画や自分への振り返りをすることで、評価・改善しようとしていること

5 外国語の勉強アドバイス

- ① 振り返りカードをポイントに従って、たくさん書きましょう。自己評価につながります。
- ② パフォーマンステストに向けては、しっかり準備をしましょう。
筆記テストだけが評価されるわけではありません。
- ③ 話す、書くなど表現する機会がたくさんありますが、積極的に取り組みましょう。
- ④ 宿題、プリントなど、課題を忘れずこなすようにしましょう。

外国語科 3年生 学習計画と評価基準について

単元	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
Unit 0	4月	<p>【知識】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】現在形や過去形、becauseなどを用いた文の理解をもとに、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしている。</p>	<p>クラスメートの新しい一面を知るために、最近夢中になっていることやよくすること、その理由などについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合ったり、たずねたり答えたりしようとしている。</p>
Unit 1	5月	<p>【知識】現在完了形（経験用法）を用いた文、SVOC（C-形容詞）、SVOO（that節）の文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】現在完了形（経験用法）を用いた文、SVOC（C-形容詞）、SVOO（that節）の文の理解をもとに、経験や人の気持ちや状態の変化、人やものが私たちに伝えることについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>海外の人に日本に興味を持ってもらうために、日本のポップカルチャーの魅力について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p>
Unit 2	5月 6月	<p>【知識】現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】現在完了形（完了・継続用法）、現在完了進行形を用いた文の理解をもとに、今の状況や続いている状態や動作についての情報をたずね合う技能を身につけている。</p>	<p>エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書いている。</p>	<p>エシカルな商品の特徴や長所を伝えるために、エシカルな商品をPRするためのポスターを、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて書こうとしている。</p>
Unit 3	5月 7月	<p>【知識】〈It is ... (for + (人など)) + to〉の文、〈want + (人など) + to〉や〈let (help) + (人など) + 動詞の原形〉を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】〈It is ... (for + (人など)) + to〉の文、〈want + (人など) + to〉や〈let (help) + (人など) + 動詞の原形〉を用いた文の理解をもとに、人にとって大切だと思うことや、人にしてほしいことなどについて伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書いている。</p>	<p>多くの人に絶滅のおそれのある動物の現状を知ってもらうために、減少の主な原因やその動物を守るために必要だと思うことについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて記事を書こうとしている。</p>
Stage Activity 1	7月	<p>【知識】Unit 3までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】Unit 3までの学習事項を用いて、日本や郷土の文化などについて、詳しい情報を加えて説明する技能を身につけている。</p>	<p>日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしている。</p>	<p>日本の魅力を知ってもらうために、日本や郷土の文化などの情報を整理して、日本文化を紹介するパンフレットを書いて説明したり、感想をたずね合ったりしようとしている。</p>
Let's Read 1	7月	<p>【知識】場面や人物の心情を表す表現を理解している。</p> <p>【技能】場面や人物の心情を表す表現の理解をもとに、物語の流れに沿って場面の变化や登場人物の心情を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の变化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えている。</p>	<p>気持ちをこめて音読することができるように、背景知識を使い、物語の流れに沿った場面の变化や登場人物の心情が書かれた文章の概要を捉えようとしている。</p>
Unit 4	9月	<p>【知識】間接疑問文とSVOO（what節）の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】間接疑問文とSVOO（what節）の文、現在分詞・過去分詞を用いた文の理解をもとに、何かを知っていると伝えたり、言葉に情報を加えたりして、事実や気持ちを話す技能を身につけている。</p>	<p>防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>防災・安全への意識を高めるために、地域の一員としての防災への取り組みについてどんな助け合いができるか、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p>

Unit 5	7 0 月	<p>【知識】名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】名詞を修飾する文と、関係代名詞 who, that [which] (主格・目的格) を用いた文の理解をもとに、詳しい情報を加えて、どのような人が、どのようなものかを話す技能を身につけている。</p>	<p>理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話している。</p>	<p>理想のリーダーとはどのような人かを伝えるために、理想のリーダーであるための情報について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて話そうとしている。</p>
Stage Activity 2	1 0 月	<p>【知識】Unit 5までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】Unit 5までの学習事項を用いて、これまでの経験をふり返って活動報告をする技能を身につけている。</p>	<p>自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしている。</p>	<p>自分のことをよりよく知ってもらうために、部活動や委員会などの活動について、活動報告の構成を理解したうえで、自分の経験や感想などを即興で話したり、まとまりのある文章を書いて発表したりしようとしている。</p>
Unit 6	1 1 1 2 月	<p>【知識】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】仮定法と主語を説明する関係代名詞を用いた文の理解をもとに、現実とは異なる願い事やできたらいいと思うことを伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合っている。</p>	<p>国を超えて助け合うことの大切さについて考えるために、地球市民としての抱負について、事実や自分の願い、思いを整理し、簡単な語句や文を用いて伝え合おうとしている。</p>
Stage Activity 3	1 2 月	<p>【知識】Unit 6までの学習事項を用いた文の形・意味・用法を理解している。</p> <p>【技能】Unit 6までの学習事項を用いて、ある論題について賛成・反対の立場を決めて、主張とその理由を明確にしなが、意見を伝え合う技能を身につけている。</p>	<p>物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしている。</p>	<p>物事を論理的・多面的に考えて説得力のある主張ができるようになるために、社会的な話題について書かれた文章を参考に、賛成・反対の立場を決めてグループでミニディベートを行い、論点に沿った主張をしようとしている。</p>
Let's Read 2	1 月	<p>【知識】長所と短所を比較して述べる文章の構成を理解している。</p> <p>【技能】長所と短所を比較して述べる文章の構成の理解をもとに、エネルギー問題について書かれた文章の内容を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>自分の考えや意見を述べるができるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えている。</p>	<p>自分の考えや意見を述べるができるように、さまざまなエネルギー問題について書かれた説明文の概要を捉えようとしている。</p>
Let's Read 3	2 月	<p>【知識】人物について書かれた伝記の文章構成を理解している。</p> <p>【技能】人物について書かれた伝記の文章構成の理解をもとに、その人物の歩みと功績を読み取る技能を身につけている。</p>	<p>自分の感想を述べるができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取っている。</p>	<p>自分の感想を述べるができるように、エリック・カールについて書かれた伝記を読んで、その歩みや功績と、彼の絵本にこめられたメッセージを読み取ろうとしている。</p>
具体的な評価の方法		<p>① 授業中に生徒の言語活動の取り組み状況を観察する。(思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>② 課題で提出した英文の評価をする。(知識・技能)</p> <p>③ Mini Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(知識・技能)</p> <p>④ Unit Activityの活動で使用したワークシートやノートで理解度や取り組み状況などを評価する。(思考・判断・表現)</p> <p>⑤ 本文の音読を評価する。(知識・技能、思考・判断・表現)</p> <p>⑥ 本文理解や言語活動の取り組み状況や理解度をパフォーマンステストで評価する。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>⑦ 本文の内容について聞いたり読んだりしたことやテーマの説明に用いられる語句や文法事項及び表現を理解しているかどうか、筆記テストをする。小テスト/中間・期末考査など(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p> <p>⑧ 単元末に授業の活動のまとめとしてのプレゼンテーションで評価をする。(知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度)</p>		

技術・家庭科（技術分野）3年生シラバス

1 技術分野の目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成する。

2 技術分野を学ぶ意義

生活や社会を支える技術を理解できるようになる。
生活や社会の中で見つけた課題を解決する方法を考え、よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて工夫し創造できるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	生活の中で利用されている技術の基礎的な理解を図るとともに、それらに関わる技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解できる。	生活や社会の中から技術に関わる問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、製作図等に表現し、試作等を通じて具体化し、実践を評価・改善するなど、課題を解決することができる。	よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：技術の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと
- ② 技術を学ぶ意義 例：技術を実際の生活や学習に生かそうとしていること
- ③ 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていること

5 技術分野のアドバイス

- ① 技術に関わる原理・法則を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ② 道具の安全・適切な使い方を自分の言葉で説明できるようにしましょう。
- ③ 技術の最適化の視点で考えましょう。

技術・家庭科（技術分野） 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
エネルギー変換の技術	1 5 7 8 9 回 目	<ul style="list-style-type: none"> ・電気，運動，熱の特性等の原理・法則と，エネルギーの変換や伝達等に関わる基礎的な技術の仕組み及び保守点検の必要性について説明できる。 ・設定した課題を解決するために，工具や機器を使用して，安全・適切に，製作，実装，点検及び調整ができる。 ・生活や社会，環境との関わりを踏まえて，技術の概念を理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・技術に込められた問題解決の工夫について考えることができる。 ・問題を見いだして課題を設定し，電気回路又は力学的な機構等を構想して設計を具体化するとともに，制作の過程や結果の評価，改善及び修正について考えることができる。 ・技術を評価し，適切な選択と管理・運用の在り方や，新たな発想に基づく改良と応用について考えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主体的にエネルギー変換の技術について考え，理解しようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，課題の解決に主体的に取り組んだり，振り返って改善したりしようとしている。 ・よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて，エネルギー変換の技術を工夫し創造しようとしている。
具体的な評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・ワークシート・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・定期テスト・ワークシート・作品 	<ul style="list-style-type: none"> ・振り返り・授業観察

技術・家庭（家庭分野）3年生シラバス

1 家庭科の目標

生活の基盤となる家庭や家族の機能を理解し、衣食住などの生活にかかわる基礎的・基本的な知識及び技術を習得する。

2 家庭科を学ぶ意義

家庭での生活の自立ができるようになる。
家庭生活をよりよく豊かに創造しようとする能力と態度が育成される。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：生活と技術について理解できる。</p> <p>技能：生活と技術に係る技能を身につけることができる。</p>	<p>思考：生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し解決策を構想することができる。</p> <p>判断：生活や社会の課題の解決策を実践し、評価・改善することができる。</p> <p>表現：生活や社会の課題の解決策の実践・評価・改善を表現することができる。</p>	<p>よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 知識及び技能を獲得したり、思考力、判断力、表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとする。
- ② 家庭を学ぶ意義 生活の自立に必要な基礎的・基本的な知識と技術を身に付ける。
- ③ 自らの学習の調整 粘り強い取り組みを行う中で、課題解決に主体的に取り組む、振り返って改善したりして生活を工夫し創造し実践しようとしている。

5 家庭の勉強アドバイス

- ① 学校で勉強した知識・技術は家で積極的に実践しましょう。
- ② レポート等、家庭生活に結び付いた宿題にしっかり取り組みましょう。

技術・家庭（家庭分野） 3年生 学習計画と評価基準について

節	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
5 2章 幼少期の生活と家族・地域	4月1～10月	<ul style="list-style-type: none"> 自分の成長と家族や家庭生活との関わりが分かり、家族・家庭の基本的な機能について理解できるとともに、家族や地域の人々と協力・協働して家庭生活を営む必要性があることに気付くことができる。 幼児の発達と生活の特徴が分かり、子どもが育つ環境としての家族の役割について理解することができる。 幼児にとっての遊びの意義や幼児との関わり方について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 幼児との関わり方について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、幼児の生活と家族について、課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
3章 これからの家族と地域	11月1～2月	<ul style="list-style-type: none"> 家族の互いの立場や役割が分かり、協力することによって家族関係をよりよくできることについて理解することができる。 家庭生活は地域との相互の関係で成り立っていることが分かり、高齢者など地域の人々と協働する必要があることや介護など高齢者との関わり方について理解することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族関係をよりよくする方法及び高齢者など地域の人々と関わり協働する方法について学んだことを生活や学習に生かすことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> 家族や地域の人々と協働し、より良い生活の実現に向けて、家族・家庭や地域との関わりについて課題の解決に主体的に取り組んだり振り返って改善したりして、生活に生かそうとしている。
具体的な評価の方法		<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト・授業中の活動、発言等・レポートなどの提出物の内容、作品・行動観察 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト・授業での活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容、作品 	<ul style="list-style-type: none"> 定期テスト・授業中の活動、発言・ワークやレポート等の提出物の内容・作品・自己評価・行動観察

保健体育科3年生シラバス

1 保健体育科の目標

- ①運動の楽しさや喜びを知る
- ②運動をして体力をつけることの必要性を知る
- ③自分の課題を見つけることができるようになり、それを友達に相談したり解決できるように話し合ったりできるようになる
- ④試合や競争を通じて、公正に取り組むこと、仲間と協力すること、自分の責任を果たす、一人ひとりの違い大切にしようとする
- ⑤健康・安全について理解する、健康についての自分の課題に気づく

2 保健体育を学ぶ意義

心と体を一体として捉え、生涯にわたって心身の健康の維持やより良くできるようなスポーツライフを実現する

3 評価の観点について

観点3つ	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
頑張っているほしき事	<ul style="list-style-type: none"> ①選択した運動の技の名称や行い方を理解する ②体力の高め方や運動観察の方法を理解する ③スポーツを行う際の健康・安全の確保の仕方についての具体的な方法を知り行うことができる ④文化としてのスポーツの意義についての考え方を理解している ⑤運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている 	<ul style="list-style-type: none"> ①自分や仲間の課題を発見する ②課題解決に向けて、運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫している ③自分や仲間の考えたことを友達や先生に伝えたり、発表したりすることができる（振り返りシート・ロイロノートに・レポート記入できている） 	<ul style="list-style-type: none"> ①健康・安全を確保して積極的、主体的に授業に参加しようとしている（出席・遅刻・忘れ物が影響） ②試合を行う時に、公正、仲間と協力、自分の責任を果たす、作戦会議や練習計画に参加しチームワークをよりよくしようと工夫している ③その日の自分の課題を見つけて、次の授業でよりよくするための工夫をしようとしている（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できている）

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ① 粘り強さ 例：健康・運動の自分の課題を粘り強く考え、友達と比較しながら諦めずに解決しようと取り組むこと
例：苦手な種目にも積極的に取り組むこと
- ② 自らの学習の調整 例：課題解決の過程を振り返って、評価・工夫・改善をしようとしていること（振り返りシート・ロイロノート・レポートに記入できていること）

5 保健体育の勉強アドバイス

- 【単元別テスト・期末テスト・レポート】
- ①保健の教科書、保体資料ノートの内容を覚える
 - ②種目のルールや何故その種目できたのか（歴史）を覚える
 - ③自分の課題を解決していくためにどうすればいいのか、レポートにまとめる
- 【実技】
- ①目標達成のために改善すべきポイントを意識しながら活動する
 - ②ほかの人と比較するのではなく、自分がどのくらい上達したのか（タイムならどれだけ縮んだのか）を重視して活動する
 - ③毎回安全かつルールを守り参加する

【学習計画】

	4月～	5月～	6月～	7月～	8月～	9月～	10月～	11月～	12月～	1月～	2月～	3月～
行う項目	集団行動 体づくり運動 1-3	体力テスト	水上運動 (水泳・水球等) バレーボール	水泳 体づくり運動 4-7	卓球 羽球運動			ソフトボール バドミントン	陸上競技 (長距離走)	サッカー バスケットボール		
毎回の授業でやること	集合・整列・ラジオ体操											
保健編	環境への適応能力 活動に適する環境 熱中症の予防と手当 飲料水の衛生的管理 室内の空気の衛生的管理 生活に伴う薬物の衛生的管理			放射線と健康 感染症の広がりが方 感染症の予防 性感染症の予防 エイズの予防 医薬品の利用						保健・医療機関の利用 健康を守る社会の取り組み 保健の学習を振り返ろう		
体育編	現代社会におけるスポーツの文化的意義				国際的なスポーツ大会の役割				人々を結びつけるスポーツ			

保健体育科3年生 評価規準について

【評価規準】

運動種別	知識・技術	態度・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
ラジヲ 体操	体操の順番を覚え、体の使っているところを認識しながら体操することができる。	その日に行う運動で使う部位をより意識して毎日体操を行うことができる。	健康・安全に気を付けながら、積極的に取り組もうとしている。
体づくり運動	○知識 ・運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などについて理解している。 ※「体づくり運動」のほ外的な運動は、技能の習得・向上をねらいとするものでないこと、実生活に生かす意図の計画を立てることが重要な点となることから、「技能」の評価基準は設定していない。	・自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・体づくり運動に自主的に取り組むとともに、互いに助け合い教え合おうとすること、一人ひとりの違いに応じた動きなどを大切にしようとするなど、試合に真剣に取り組もうとすることなどや、健康・安全を確保したりしている。
行楽 集団	号令列する動きを理解し、行動することができる。	会員の動きが揃うように動きを見比べ、完成したものを発表することができる。	集団行動に意図的に取り組もうとしている。発表の内容に対する課題に自ら気づき、次の発表の活動をよりよくするために工夫をしようとしている。
体力 テスト	テストの名前を正しく理解し、自分の力を最大限に発揮することができる。	自分と他者の行い方を見比べよりよい記録ができるように工夫することができる。	体力テストに意図的に取り組もうとしている。自分の記録に対する課題に自ら気づき、今後の自分の記録をよりよくするために工夫をしようとしている。
舞 踊	○知識 ・それぞれの種目や種別などにより、主として高める体力要素が異なることや、種目を行うための合理的な動き方のポイントを理解することができる。 ○技能 ・全身を支えたり突き放したりするための着手の仕方、肩肘を深めるための動き方、動き上がりやすくするための動き方などを意識し、基本的な技の一端の動きを滑らかに行うことができる。 ・学習した基本的な技を発展させて、一連の動きで行うことができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ・自分と他者を比べて、課題に気づき仲間とともに課題を解決することができる。	・器楽運動に積極的に取り組むとともに、出来栄の良い技や演技に誇りをかけるとともに、仲間の努力を認めようとするなど、練習の補助や声かけにより仲間の学習の促進をしようとしている。 ・健康・安全に気を配り、自己の課題に気づき、技の完成に向けて工夫した練習を行おうとしている。
陸上 競技 (マラソン・短距離走・長距離走)	○知識 ・陸上競技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動継続の方法などについて理解している。 ○技能 ・短距離走・マラソンでは、中間走へのつなぎを滑らかにして速く走ることやバタンの受渡しで次走者のスピードを十分高めることができる。 ・長距離走では、自己に合ったペースを維持して走ることができる。 ・ハードル走では、スピードを維持した走りからハードルを高く越すことができる。 ・走り幅跳びでは、スピードに乗った助走から力強く踏み切ることができ、走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切り滑らかな空翻動作で跳ぶことができる。	・動きなどの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・陸上競技に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を重たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を大切にしようとするなどや、健康・安全を確保すること。
ス ク ワ ッ ト バ レ ッ ト バ ド ミ ン ト テ ニ ス	○知識 ・球技の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動継続の方法などについて理解している。 ○技能 ・ゴール型では、安定したボール操作と空間を作りだすなどの動きによってゴールへの侵入などから攻撃をすることができる。 ・ネット型では、役割に応じたボール操作や安定した用具の操作と連携した動きによって空いた場所をめぐる攻撃をすることができる。 ・ベースボール型では、安定したバット操作と走塁での攻撃、ボール操作と連携した守備などによって攻撃をすることができる。	・攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。	・球技に自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとするなど、作戦などについての試合に真剣にしようとするなど、一人ひとりの違いに応じたプレイなどを大切にしようとするなどや、互いに助け合い教え合おうとすることなどをしようしたり、健康・安全を確保したりしている。
水 泳	○知識 ・水泳の技術の名称や行い方、体力の高め方、運動継続の方法などについて理解している。 ○技能 ・クロールでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・平泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで長く泳いだり速く泳いだりすることができる。 ・背泳ぎでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・バタフライでは、手と足の動き、呼吸のバランスを保ち、安定したペースで泳ぐことができる。 ・複合的水泳で泳ぐこと、又はリレーをすることができる。	・泳法などの自己や仲間の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えている。	・水泳に自主的に取り組むとともに、勝敗などを冷静に受け止め、ルールやマナーを大切にしようとするなど、自己の責任を重たそうとすること、一人ひとりの違いに応じた練習や練習を大切にしようとするなどや、水泳の事故防止に關する心構えを遵守するなど健康・安全を確保している。
健 康 と 環 境	・身体的環境に対する適応能力・運動習慣、飲料水や空気の衛生的管理および生活に伴う汚染物の衛生的管理など、健康と環境の関わりについて理解している。	・健康と環境に關する事象や情報を基に課題を発見し、健康の保持増進のための原則や概念を明らかにするための科学的に思考・判断して、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・健康と環境について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
健 康 の 予 防 と 医 療	・感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて、理解している。	・感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みに關する事象や情報を基に課題を発見し、疾病等のリスクを認識したり、生活の質を高めたりする観点から解決を目指して科学的に思考・判断し、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・感染症の予防および個人の健康を守る社会の取り組みについて関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、健康の保持増進や回復についての学習に粘り強く取り組もうとしている。
ホ ビ ー の 意 義	・文化としてのスポーツの意義について、理解している。	・文化としてのスポーツの意義について、自己の課題を発見し、よりよい解決に向けて思考・判断するとともに、それらを他者に伝えたり、表したりしている。	・文化としてのスポーツの意義について関心を持ち、主体的に学習の進め方を工夫・調整し、粘り強く学習に取り組もうとしている。
身 体 的 な 成 長	定期テスト・単元別テスト・レポート・実技テスト・授業での成長・授業の様子、提出物	授業中の仲間との関わり方・発表・発言・振り返りシート・ロイロノートの内容	出席・遅刻・忘れ物・授業中の行動や発言・授業での成長・振り返りシート・ロイロノートの内容

音楽科3年生シラバス

1 音楽科の目標

表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と豊かに関わる資質・能力を育成することを目指す。

2 音楽科を学ぶことの意義

- ・音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を演奏したり聴いたりすることが好きになる。
- ・色々な音楽表現の豊かさや美しさを感じ取り、自分でも創意工夫して表現することができるようになる。
- ・美しい音楽を聴いて感動し、色々な音楽を自分から鑑賞することができるようになる。

3 評価の観点について

観点	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
趣 旨	<p>知識：音楽を表現・鑑賞するために、その背景にある仕組みや歴史等を理解することができる。</p> <p>技能：創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。</p>	<p>思考：その音楽がなぜ美しいと感じたり感動したりするのかを考察することができる。</p> <p>判断：今の自分の現状を分析して課題を見つけ、その解決法を選ぶことができる。</p> <p>表現：より美しく感動的な表現をするために創意工夫をすることができる。</p>	<p>音や音楽、音楽文化に親しむことができるよう、音楽活動を楽しみながら主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>

4 主体的に学習に取り組む態度について

- ①粘り強さ(例):音楽科の課題を粘り強く考え、あきらめずに解決しようと取り組むこと。
(例):自分の考えを更に深めるために、友達の見解も聞き、一緒に答えを導き出すこと。
- ②音楽を学ぶ意義(例):音楽科で学んだ事柄を次の学習や実際の生活に生かそうとしていること。
- ③自らの学習の調整(例):課題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしていること。

5 音楽科の勉強アドバイス

- ①授業での表現活動（歌唱や楽器演奏など）は、恥ずかしがらず積極的に、他の人の意見も参考にしながら行いましょう。
- ②必要な知識や技能が身につくまで、繰り返し練習し、学んだ内容を自分で使いこなせるようになるまで、粘り強く取り組みましょう

音楽科 3年生 学習計画と評価基準について

単元	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
楽典	4月 ～ 3月	様々な音符や休符、音楽記号など基礎的な名前や意味などを理解している。	それぞれの記号の特徴をふまえ、演奏でどのような表現がふさわしいか、生み出す効果について考える。	それぞれの記号の特徴に関心を持ち、ワークシートにまとめるなど主体的に学習活動に取り組もうとしている。
「花の街」	4月	「花の街」の曲想と音楽の構造や歌詞の内容とのかかわり、背景を理解している。また、これらの曲を美しく感動的に歌うために必要な発声や身体使いなどの技能を身に付け、歌唱で表現している。	「花の街」を現状に対して、より美しく感動的な歌唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	「花の街」の曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
合唱曲に親しむ	4月 ～ 7月	合唱を通して音楽の楽しさや感動を理解し、楽しみながら合唱することができる。	思いや意図を持ってその曲にふさわしい、創意工夫した合唱表現をすることができる。	主体的・協働的に諦めずしながら合唱を通して音楽表現に取り組もうとしている。
ブルータバ	5月 ～ 6月	「ブルータバ」の曲想と音楽の構造・背景や演奏形態、スメタナの生涯について理解している。	「ブルータバ」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	「ブルータバ」が表す背景及び曲の表情や味わいに関心を持ち、主体的・協働的に学習活動に取り組もうとしている。
リコーダー	5月 ～ 7月	アルトリコーダーの演奏技能を身につけ、美しく曲を演奏表現できる。	アルトリコーダーで美しい演奏をするために必要な要素を考え、創意工夫している。	アルトリコーダーで曲を演奏できる喜びを目指し、主体的・協働的に練習に取り組もうとしている。
全校合唱 学年、	7月 ～ 10月	文化祭で学年・全校で合唱発表するために必要な美しい発声、正しい首程での歌唱などの技能を身に付け、表現している。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	学年・全校合唱の練習に対して、パートやクラスで主体的・協働的に参加しようとしている。
バレエ音楽「ボレロ」	11月 ～ 12月	「ボレロ」の演奏を鑑賞することを通して、オーケストラの表現形態を理解し、その楽しさや感動を味わうことができる。	「ボレロ」を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	バレエ音楽の特徴やその作品に興味関心を持ち、主体的に鑑賞活動に取り組もうとしている。
伝統音楽 日本の音楽	1月 ～ 2月	雅楽「越天楽」の曲想と音楽の構造や、各楽器の構造や演奏法について理解している。	雅楽「越天楽」の演奏を鑑賞し、そこから生まれる感動の要因について考えることができる。	雅楽「越天楽」鑑賞活動や、その背景の理解について、主体的に取り組むことができる。
卒業式	1月 ～ 3月	卒業式における「君が代」「校歌」「式歌」の意味を理解し、それらを美しく感動的に演奏することができる。	現状に対して、より美しく感動的な合唱表現をするために必要な要因を考え、創意工夫することができる。	曲の背景の理解や歌唱練習に対して、主体的・協働的に取り組もうとしている。
評価の方法 具体的な		行動観察、発言、発表、ワークシート、実技テスト、ロイロでの振り返り、定期テストなど	発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テスト・定期テストなど	行動観察、発言、発表、ワークシート、ロイロでの振り返り、実技テストなど

美術科 3年生 シラバス

1.美術分野の目標

美術の幅広い活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の美術や美術文化と豊かに関わる資質・能力を育成を目指す。

2.美術の分野を学ぶ意義

- ・生徒の学習を積極的に評価し、学習全般の意義や価値を実感できるようになるため。
- ・生徒自身が自分の学習や仕事の見通しをたてられるようになるようにし、学習や仕事の過程や成果を評価し、自身で改善や学習意欲の向上を図り資質・能力の育成に活かすようにできるようになること。
- ・生徒自身で創意工夫し、自身の学習の成果が円滑に接続されるように工夫することができるようになること。

3.評価の観点について

観点	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
趣旨	<p>知識：対象や事象を捉える造形的な視点について理解することができる。</p> <p>技能：意図に応じて表現方法を工夫して表すことができる。</p>	<p>思考：自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と美しさの調和、美術の働きなどについて考えることができる。</p> <p>判断：主題を生み出し豊かに発想し構想を練ることができる。</p> <p>表現：豊かに発想し構想を練り、美術や美術文化に対する見方や感じ方を広げることができる。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、感じ取ったことや考えたことを基にした表現及び鑑賞の学習活動に進んで取り組めることができる。</p>

4.主体的に学習に取り組む態度について

- より良い表現を目指して構想を工夫改善すること
 - 例 アドバイスなども聞きつつ、自分のアイデアをより良くすることに取り組む
- 粘り強く取り組む態度が感じられること
 - 例 与えられた時間の中で、創意工夫しながら良い作品(良い考え)になるように取り組む
- 美術の知識及び技能を使い、創造活動の喜びを感じ取っていることが確認できること
 - 例 私たちの社会の中や生活の中に学習を活かすことができる
 - 例 授業中や学校や社会の中で、作品などを楽しく鑑賞することができる

美術科 3年生 学習計画と評価基準について

	教科書見出し	学習時期	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
絵画・彫刻など	鉛筆デッサン	4月～5月	知識：立体としてのものの見方や形体の表し方、質感などを描画材料の特徴を工夫しながら表現に生かしている。 技術：描画材料の特徴を生かしながら、ものの立体の表し方を工夫している。	発想：立体としてのものの見方や形体の表し方、意図に応じた描画材料の生かし方などを工夫し、創造的に表現している。 鑑賞：造形的なよさや美しさを感じ取り、描画材料の工夫などについて考えるなどとして、見方や感じ方を広げようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい、楽しく身近なものを描く表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、身近なものを描いた作品から、さまざまな表現の工夫を感じ取る学習活動に取り組もうとしている。
		5月	知識：形や色彩、材料などが感情にもたらす効果や、造形的な特徴などが作者の意図や美しさを伝えることを理解している。	鑑賞：作品の造形的なよさや美しさを感じ取り作品がつけられた背景などをもとに、作者の表現の意図や工夫について考えるなどとして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り、作者の表現の意図や工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
絵画・彫刻など	自分を見つめて	6月～7月・9月～10月	知識：線が作り出す形や模様、色彩などが感情にもたらす効果や、作品の造形的な特徴などを見つめて生み出す表現などを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。 技術：自分の表したい表現に合った描き方を選択し意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表している。	発想：今の自分や将来の自分を深く見つめ感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、模倣に組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫し、心豊かに表現する構想を練っている。 鑑賞：自己を表現した作品のよさや美しさを感じ取り、作者の思いや表現の工夫について考えるなどとして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に今の自分や将来の自分をテーマに自分を作品に表す表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品のよさや美しさを感じ取り作者の思いや表現の工夫を考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
		11月～12月・1月	知識：材料の特性や質感、それらが感情にもたらす効果や、造形的な特徴や加工方法が、材料の持ち味や、全体のイメージを伝えることを理解している。 技術：材料や用具などの特性を生かし、意図に応じて表現方法を創意工夫し、制作順序などを総合的に考えつつ、見通しを持って創造的に表すことができる。	発想：材料のよさや美しさを基に、使う場面や機能などから主題を生み出し、使いやすさや機能と材料の特性や効果などとの調和を総合的に考え、表現する構想を練ることができる。 鑑賞：使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどとして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度表現：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に材料の特性や機能性などを生かしてつくることを考えて構想を練ったり、意図に応じて表現方法を創意工夫し見通しを持って創造的に表したりする表現の学習活動に取り組もうとしている。 態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に使う目的や機能との調和のとれた洗練された美しさなどを感じ取り、表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
絵画・彫刻の分野	なんでもこれが美	2月～3月	知識：様々な芸術や造形物を知ることで、現代芸術の流れやイメージなどを理解している。その良さや美しさや考えを理解している。	鑑賞：現代美術の美しさ、面白さを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどとして、美意識を高め、見方や感じ方を深めようとしている。	態度鑑賞：美術の創造活動の喜びを味わい主体的に現代美術の面白さや考え方などに関心を持ってよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考えるなどの見方や感じ方を深める鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
			作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言・定期テスト	作品・制作過程のすべて・ワークシート・発言

特別支援学級について

特別支援学級では、生徒の実態に合わせて下記のような学習を行います。

① 「自立活動」

ねらい

個々の生徒が自立を目指し、障がいによる学習や生活上の困難を主体的に改善したりそれに対して対処する方法を身に着けるために、必要な知識・技能・態度及び習慣を養い、心身の調和的発達の基盤を養う。

例：体力向上、コミュニケーション活動、ソーシャルスキルトレーニング、ビジョントレーニング、認知トレーニング、活動の見通しをたてる時間など。

② 「生活単元学習」

ねらい

生徒が、生活上の目標を達成したり、課題を解決したりするために、一連の活動を組織的に経験することによって、自立的な生活に必要な事柄を学習する。

例：園芸、手先の緻密性を高める作業学習、創作活動、調理実習など

③ 「教科学習」

ねらい

社会に出て、最低限必要な学力を身につける。

例：体験学習などを通して、経験を積み重ね、生活に即した学力をつける。

こくさいきょうしつ
Q: 国際教室ってどんなところですか？

⇒ A: 外国につながる生徒のみなさんのための場所です。

1. 日本に来て間もないみなさん

日本に来たばかりのみなさんには、日本語の授業はもちろん、教科の勉強の支援や母国では学んでいない学習内容の補習、学校生活や行事の事前学習、文化や習慣の違いによる悩み相談など、安心して東橋内中学校で過ごせるためのサポートを幅広く行っています。

2. 日本での生活が長いみなさん

日本の生活に慣れていて、日常生活の日本語にはあまり困っていないけれど、教科の勉強の日本語に困り感がある生徒のみなさんには、普通教室での授業のサポートを行っています。



3. 日本語能力試験への対応

国際教室では日本語を母語としない生徒のみなさんを対象に、日本語能力を測る「日本語能力試験」の対策も行っています。「日本語能力試験」に合格すると、学校での単位・卒業資格認定や、企業での優遇、社会的資格認定などさまざまなメリットがあり、将来日本の企業で働きたいと思っているみなさんには受験を強くおすすめしています。レベルはN1（幅広い場面で日本語を使うことができるレベル）からN5（基本的な日本語をある程度理解することができるレベル）までの5つで、本校に在学している間には、N3（日常的な場面で使われる日本語をある程度理解できるレベル）を取得することが目標です。今からチャレンジすることで、自分の将来にぜひつなげてください。



国際教室は、勉強だけではなく、外国につながるみなさんが困ったときに頼れる場所です。
困ったことがあればぜひ、国際教室に来てください。

おわりに

この「学習の手引き」を大いに活用し、より充実した学習活動を自主的に展開してくれることを期待しています。そして、これからの進路選択や人生選択において、「自己実現」し、最適な道を見つけ出す力を身に着け、輝く未来に歩み出してくれることを願っています。

学習の手引き

令和8年5月12日 第1刷発行

発行所 津市立東橋内中学校

津市中河原 356 番地 2

TEL 059-228-2624

FAX 059-228-2628

E-mail j2282624@res-edu.ed.jp